

# 健康・福祉

## 健やかな未来を築くために



ふれあいセンターでは車椅子でも利用できる送迎バスが整備されています。

高齢者人口は、今後ますます増加し、お互いが共に支えあひながら生活してゆかなければなりません。村民ひとり一人が健康や福祉に関心を寄せ、自主的に協力し合うことが望まれます。村では、村民のすべてが健康の維持や増進、病気の予防といった健康教育、治療、機能訓練、在宅ケアなどきめ細かなサービスが生涯を通じて受けられるように、保健、医療、福祉の体制づくりを確立させていく方針です。

実や生きがい対策など、総合的な対策を展開しています。福祉活動で大切なことは、自立を支援することです。障害を持った人が仕事を通して地域社会に関わり、喜びと生きがいを見出せるよう支援するとともに、母子・父子家庭への経済面・精神面のバックアップもを行い、社会的に自立できるよう生活福祉金などの利用促進を図ります。多様化する生活上の諸問題を迅速に解決するため、保健婦、ホームヘルパー、社会福祉協議会などが連携しての生活相談や指導の充実をめざしています。



平成13年10月12日長寿対談から  
(左 カネさん100歳・右 サタさん101歳)



住民検診



乳幼児検診